

浦和第一女子高校 «活性化・特色化方針（スクール・ポリシー）»

課程	全日制	学科	普通科	R4.5.1 生徒数	(男)－ (女)1073	計 1073			
アクセス	JR 浦和駅西口より徒歩 8 分 JR 南浦和駅西口より徒歩 1 2 分								
<b>&lt;目指す学校像&gt;</b>									
世界で活躍できる知性と教養、逞しさを備え、社会に貢献する高い志を持った 魅力あるリーダーを育成する女子高校									
<b>&lt;教育課程等&gt; ※ 1</b>									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「2 期制」「土曜公開授業（隔週）」により授業時間の確保</li> <li>・2 年次より類型選択（文理ともに英数国の基礎学力を重視しつつ、理科・社会の時数を確保し、3 年間で総合的な学力の完成を目指す。3 年文系では大幅な選択制）</li> <li>・授業は 50 分で実施し授業回数を確保</li> <li>・SGH の取組は令和 3 年度以降も本校のグローバル教育として引き継ぎ、女性ならではの視点で、グローバルな課題を探究し続けている</li> <li>・SSH（平成 16 年度～、4 期継続指定）科学を通じ未来を見渡す広い視野を身につけた国際社会をリードする女性科学者・技術者を育む</li> </ul>									
<b>&lt;本校が求める生徒&gt; ※ 2</b>									
知を探究し、国際社会に向け自らを鍛え、自主的に幅広い活動を行うことにより、将来、女性リーダーとして活躍しようとする強い意志を持った生徒									
<b>&lt;学校行事&gt;</b>									
特色ある学校行事 <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒海外派遣等の国際交流（R2、3 はオンライン等を活用）</li> <li>・生徒が企画運営する学校行事 一女祭 スポーツ大会 全校討論会 等</li> </ul>									
<b>&lt;部活動&gt;</b>									
ボート部 インターハイ 女子舵手付クォドルブル出場 全国高等学校選抜ボート大会 女子舵手付クォドルブル出場 関東高等学校選抜ボート大会 女子舵手付クォドルブル優勝 陸上競技部 令和 3 年度関東高等学校陸上競技大会 やり投げ 3 位入賞・三段跳び 8 位入賞 令和 3 年度全国高等学校総合体育大会陸上競技大会 やり投げ出場 弓道部 全国高等学校弓道選抜大会 個人の部 出場 ソフトテニス部 関東高等学校ソフトテニス大会 個人の部・団体の部出場 水泳部 関東高等学校水泳競技大会 女子 200m 自由形出場 アナウンス部 第 6 8 回 NHK 杯全国高校放送コンテスト アナウンス部門優勝 朗読・ラジオドキュメント・テレビドキュメント・創作ラジオドラマ部門出場 第 4 5 回全国高等学校総合文化祭和歌山大会 アナウンス部門・朗読部門・ビデオメッセージ部門出場 文芸部 第 4 5 回全国高等学校総合文化祭和歌山大会出場 第 3 4 回全国高等学校文芸コンクール 文芸部誌部門奨励賞 美術部 第 6 5 回全日本学生美術展 佳作 音楽部 第 1 1 回関東ヴォーカルアンサンブルコンテスト高等学校部門金賞 競技かるた部 第 4 5 回全国高等学校総合文化祭和歌山大会小倉百人一首かるた部門競技の部奨励賞 5 位 読唱の部最優秀賞 (以上令和 3 年度)									
<b>&lt;家庭・地域との連携&gt;</b>									
<ul style="list-style-type: none"> <li>・小高交流事業（ゆうやけサポート・わくわく体験教室 等）・地域小中高合同発表会</li> <li>・地域のイベントへの参加（部活動発表・ボランティア）・地域敬老会との交流</li> </ul>									
進路	R4.3 卒業生	四大	290人	短大	1人	専門	2人	就職	0人
	傾向	ほぼ全員が 4 年制大学進学希望であり、この 5 年間、国公立大学の現役合格数を毎年増やしています。2021 年度からは 1 クラス減で全体の生徒数自体は減ったにもかかわらず、122 名の現役合格者を出しました。2022 年度もその流れを引き継ぎ、138 名の現役合格者を出しました。東大や医学部医学科などの難関大学進学者も増える傾向です。							

# 埼玉県立浦和第一女子高等学校育成方針（全日制）



## 生徒・保護者の願い

- 高い進路志望の実現
- わかる授業・伸ばす授業
- 部活動と学校行事を通じた成長
- 教科指導力があり、親身で熱心な教員集団

## 【目指す学校像】

世界で活躍できる知性と教養、逞しさを備え、社会に貢献する  
高い志を持った 魅力あるリーダーを育成する女子高校

## 教職員の願い

- 生徒の高い志の実現
- 学校の更なる発展
- 卒業生の活躍

## 地域からの期待

- 伝統ある女子校としての高い教育の実現
- 地域への情報発信・交流

3年後の目指す姿 “伝統”と”実績”を持つ女子校として更なる飛躍へ

- ◆埼玉県屈指の公立進学女子校として、伝統を継承し発展させる
- ◆進学実績を向上させる ～東大をはじめ国立大学・医学部・難関私立大学合格数の増加～
- ◆学校行事・部活動を通して社会性、リーダーシップ、逞しさをを持った生徒を育成する

学問や大学を深く研究し、自分と社会との関わりについて考え、高い志を持ってその実現に努力する

### 1学年

一女生として基礎基本を身につける  
・各科目の学習方法をつかみ授業を核とした学習習慣を確立する  
・高い目標を持つ

### 2学年

自分の可能性を追求する  
・国数英の全学力を共通テストレベルに仕上げる  
・高い進路目標を持續する

### 3学年

今までの学びをもとに自分の力で未来をつかむ  
・進路決定に向けて本格的な受験体制に入る  
・最後（国立後期）まで粘り強く努力する

大学入試

大学における学びの充実

魅力ある女性リーダーに成長

コア

「コア&オプション」を生かした指導  
「コアの充実」を前提に「オプション」でも頑張る生徒を育て「魅力あるリーダー」へ成長させる  
生徒がともに切磋琢磨する中で協力して高め合い、全員が自分の将来像を確立できる学校

オプション

## 授業（「学問の魅力」）



- ・一女の授業は「学問の魅力」を伝えます。
- ・一女の授業は大学入試に対する表面的なノウハウだけを伝えるものではありません。
- ・学ぶことの楽しさを感じてください。
- ・授業を中心とした予習・復習のサイクルを確立することで希望の大学に進学できる力がつき、大学入学後にも生きる力がつきます。

## 自主学習（興味・関心・志望、計画性、教科バランス）



- ・一女では自ら学び、学問を深める力を必要と考え求めています。
- ・通学時間や個々のオプションによって時間の使い方は変わります。
- ・3年間を見据えた学習計画、各学年における学習計画、日々の学習計画を構築します。
- ・苦手科目も克服していけるようにバランス良く時間を確保することが大切です。
- ・計画は担任の先生等との面談を通して確認していきます。



### 小テスト・課題等

- ・各教科では学力定着を図るために必要な量の課題が提示されます。
- ・個々の自主学習も並行できるように配慮されています。自主学習計画に組み入れて準備しましょう。
- ・新書レポート・英語多読プログラムなどに取り組みます。



### 定期考査

- ・学習到達度を図るために年間5回、年間行事予定で期間が定められています。
- ・日々の授業を大切に、計画的自主学習を進めることが大切です。



### 実力テスト

- ・大学受験のために3年間の学習にどう取り組んでいくかの指針となるテストです。
- ・4月、9月、1月の年間3回実施されます。
- ・この時期までにここまで身につけておいてほしいという内容が出題されます。



### 実力養成講座

- ・授業に加えて、早期・放課後・長期休業中に多様な講座を実施します。



### SSH

- ・将来の研究者を育成します。
- ・科学の楽しさを知り、魅力を体験し、成果を発表することによって科学的な視野を広げ科学する力を高めます。



### グローバルな視点に立つ探究プログラム

- ・SGHを引き継いだ『未来のための『女性学』探究プロジェクト』、女性の視点からグローバルな課題を探究します。
- ・イギリス、台湾、二つの姉妹校との交流など多様なプログラムを用意しています（R2、3はオンラインによる交流実施）。



### 部活動

- ・約95%の生徒が加入して全力で取り組んでいます。
- ・全国大会で活躍する部活動、日本の伝統芸能に取り組む部活動など運動部17、文化部26の部活動があります。



### 学校行事

- ・伝統に支えられた多様な学校行事があります。
- ・一女祭（文化祭・体育祭）、スポーツ大会など生徒が企画、運営します。



### 生徒会活動

- ・自主自立。生徒の企画運営で行われます。
- ・全校討論会では生徒が決めたテーマについて白熱した討論が繰り広げられます。